

声調の基本-講義

→ [講義](#) [中国語学習の運用設計](#) [lecture](#) [chinese](#) [overview](#)
<https://study.bem130.com/lecture/chinese/overview/中国語学習の運用設計-講義/>

→ [定石集](#) [ピンイン表と声調規則](#) [reference](#) [chinese](#) [phonetics](#)
<https://study.bem130.com/reference/chinese/phonetics/ピンイン表と声調規則-定石集/>

1 導入

この講義の核心は、中国語では字そのものよりも、字に付く声調まで含めて1つの語として記憶する、という原則を固定することにある。日本語では高低が意味差を大きく支配しないため、漢字が読めることと発話を通じることを混同しやすい。しかし中国語では、買うと売るのような差が声調だけで分かれる。

2 中心課題

なぜ [买/mǎi] と [卖/mài] を同じ「mai」として覚えてはならないのか。なぜ発音の初期段階で第1声から第4声までを機械的に区別できるようにする必要があるのか。

3 用語

- 声調: 音節に付く高低変化
- 第1声: 高く平らに保つ声調
- 第2声: 低いところから上がる声調
- 第3声: 低く沈み、必要に応じて上がる声調
- 第4声: 高いところから鋭く落ちる声調
- 轻声: 独立した調型を弱め、前の音節に従って短く発音する形

4 直感的な説明

声調は、単語の装飾ではない。意味を指定する本体の一部である。そのため [ma] という綴りだけを覚えても、まだ語を覚えたことにはならない。

Display

mā はは
妈 母

má あさ
麻 麻

mǎ うま
马 馬

mà しか
骂 叱る

5 厳密な説明

5.1 1. 声調は音節単位で付く

中国語の標準的な発音記述では、1音節に1つの声調を対応させる。したがって、語を記憶するときは「字形 + ピンイン + 声調」を一体として保持する。

5.2 2. 第4声と第3声の混同は意味差を直撃しやすい

日本語母語話者は、下がる音と低く抑える音を同じように処理しやすい。そのため [买/mǎi] と [卖/mài] のような対立で TON 誤りが生じやすい。

5.3 3. 軽声は弱化として覚える

軽声は独立した輪郭を強く持たず、前の音節に依存して短く発音される。したがって、四声と同列に丸暗記するより、頻出語の中で固定表現として覚えるほうが安定する。

6 最小の具体例

Correct

Wǒ xiǎng mǎi shū.
我想买书。

[TON] [买/mǎi] は第3声である。

Incorrect

Wǒ xiǎng mài shū.
我想卖书。

[TON] [卖/mài] は第4声であり、意味が「売る」に変わる。

7 見分け方

- ピンインを書けても声調符号が抜けるなら、TONの未定着と判定する
- 字の意味は合っているのに通じないなら、まず声調の混同を疑う
- 語彙を増やすときは、字形だけでなく [字/ピンイン] を声に出して確認する

8 どこまで成り立つか

この講義は普通話の標準音を前提にしている。地域差や話速による揺れはあるが、学習初期では四声と軽声の識別を先に固定することが優先される。

さいしゅうけい

9 最終形

Display

せいちょう たんご ふぞくぶつ
声調は単語の付属物ではない

じけい せいちょう たんい おぼ
字形 + ピンイン + 声調 を1単位で覚える

あいまい ごい ふ
曖昧なまま語彙を増やさない

ひとこと

10 一言でいうと

ちゅうごくご せいちょう ふく ご
中国語では、声調まで含めてはじめて1つの語になる。

かんれん

11 関連リンク

→ [講義](#) [ピンインと初声尾声](#) [lecture](#) [chinese](#) [phonetics](#)
<https://study.bem130.com/lecture/chinese/phonetics/ピンインと初声尾声-講義/>

→ [定石集](#) [ピンイン表と声調規則](#) [reference](#) [chinese](#) [phonetics](#)
<https://study.bem130.com/reference/chinese/phonetics/ピンイン表と声調規則-定石集/>

→ [問題演習](#) [声調識別ドリル](#) [exercise](#) [chinese](#) [phonetics](#)
<https://study.bem130.com/exercise/chinese/phonetics/声調識別ドリル-問題演習/>